

自治体取り組み事例 (図面の電子化)

東かがわ市



東かがわ市は香川県の東端に位置し、平成15年に引田町・白鳥町・大内町の3町合併により誕生しました。人口は約3万人。

地場産業の手袋生産は伝統産業で、はまち養殖の発祥地、有名な製菓や和三盆糖などの伝統を今なお受け継ぐ、伝統と文化、自然環境豊かな市です。



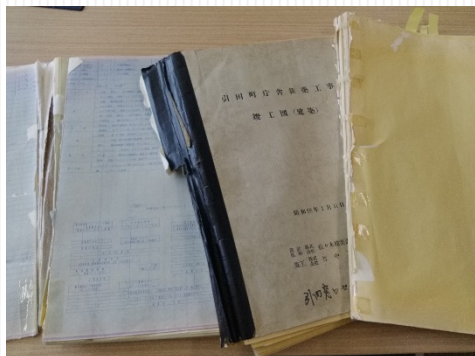
POINT

管理施設の竣工図面と確認申請図書を全て電子化。長期保管と図面のメンテナンスを実現しました。

課題

当市では全庁統一CADを導入して約10年になるが、CADデータがある竣工図はごく最近の施設に限られていた。竣工図が紙しかない施設は改修のたびに部分的な図面が発生し、図面だけでは現状が把握できない状況だった。所管施設が多い部署では、製本図面の整理が適切に行われていないこともあった。

また、手書きの紙図面は、製本もボロボロになり、文字も読み取れない状態になってきていた。ファシリティマネジメントの推進が求められる中、図面管理と現状の把握は大きな課題であった。



きっかけ

当市が導入するCADのメーカーが開催する研修会で図面の電子化について知った。

とある部署からでた所管施設の図面の電子化の予算化の要望を、全庁的な取り組みとすることとした。

取り組み

今回、電子化を実施したのは当市が管理する約200施設の竣工図面と確認申請など。費用対効果を考え、スキャニングとトレースを組み合わせた図面の電子化を実施した。

まずは、何をスキャニング対象とし、何をCADデータ化するかを庁内で検討。

保管を目的とする図面や確認申請などの図書類はスキャニング。使用頻度が高く設計業者とのやりとりや、更新が容易であるので、平面図をCADデータ化することで決定しました。

方針決定後は対象図面・図書の集約。各部署に協力してもらい、

最終的にスキャニングが約25,000枚、CADデータ化が約500枚となった。レイヤ・図枠・部品・各種設定の標準化し、無事PDF化とCADデータ化が完了しました。

現在は電子化した図面や図書類を全庁でファイル共有し、修繕や改修時の発注図面などに活用しています。

将来に向けて

保管・管理のために図面を電子化し庁内イントラで共有した。

新築工事や改修工事の際には、竣工図面のCADデータを業者から納品してもらうこととした。

今後は常に施設の最新状況を把握できるようにするため、CADデータをメンテナンスできる仕組みの構築に取り組んでいきたい。

担当部署

東かがわ市 総務部 財務課
連絡先: 0879-26-1215

長寿命化!

計画保全!

BCP対策!

管理品質向上!

省スペース!

施設管理のIT化をお手伝いします!

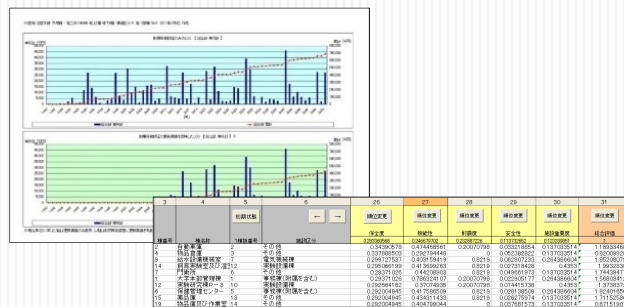
施設管理システム

全庁の施設に関わる情報全てをサーバーで一元管理。施設の基本情報から工事履歴や書類・写真・図面が確認できます。ID/PASSにより権限設定も可能です。



長寿命化・計画保全

長寿命化実現に向けた計画保全のための仕組みを提供。施設の基本情報と簡易調査結果を元に、AHP評価・分析を実施し、優先改修度を順位化。全体最適な施設管理を実現します。



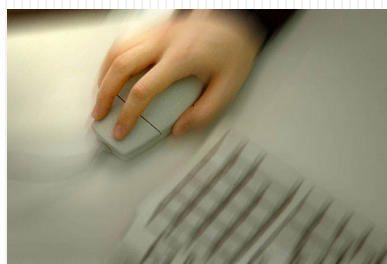
スキャニング

紙図面をスキャニングし、TIFFやPDFデータに変換します。図面の電子化により省スペースを実現し、長期保管に最適な図面管理が可能になります。



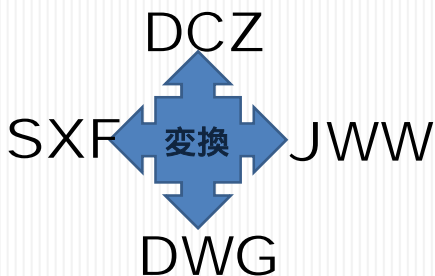
トレース

紙図面やTIFF/PDFをCADデータにトレースします。安価で高精度なCADデータを作成します。対応ファイル形式: DCZ, SXF (P21/SFC), DXF, DWG, JWW



データ変換

DynaCADを使用してデータ変換を行います。未対応ファイルの変換やCADソフト移行時などにご利用ください。対応ファイル形式: DCZ, SXF (P21/SFC), DXF, DWG, JWW



CAD導入

多くの自治体様に導入されているDynaCAD官公庁版Plusの導入から研修、運用までをご提案いたします。セキュリティ強化、電子納品対応、紙図面の活用に最適です。

